

まさに、生まれ続ける「ストーリーズ」

stories

広報かわねほんちょう



「平谷の流したい」は毎年7月14日、瀬平地区の住民が集い、祈りを込めた松明を大井川に流す伝統行事。今年も同日夕方になると、住民たちが材料を持ち寄って、わいわい会話を楽しみながら「たい」の製作が始まります。

関連17ページ

「今日は流したい日よりだな」

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

2011

9

No.71

ズームアップ
Zoom up

榛原地区北地域小学校陸上競技大会
本川根小学校グラウンド 7月26日

魂を燃やせ

魂を燃やせ

Zoom up

平成23年度
 榛原地区北地域小学校
 陸上競技大会

本川根小学校グラウンド
 7月26日 午前8時30分

「プロローグ」

子どもの運動能力低下 について考える

「50メートル走、パパは僕より速かった」「運動する小学生は親の世代より激減し、男子では5割、女子では3割」「子どもも大人もどちらも運動が不足ぎみ」。

これらの見出しは、体育の日に発行された新聞の見出しを抜粋したものである。

ここ数十年、子どもの体力低下が毎年のように指摘され、特に「現代の子どもの体力は、

親が子どもの時よりも低い」と叫ばれ続けてきた。

左ページ下の表を見てみると、現代の子どもの身長は、男女とも、昔に比べて2センチ以上高くなっている。体重についても同じことが言え、子どもの体格は確実に大きくなっていることが分かる。

しかし、それに比例して身体能力も向上しているかと言え、決してそんなことはない。体は大きくなっているのに、50メートル走やボール投げの記録は逆にマイナス傾向にある。

体格に見合った身体機能の発達が見られていないことをデータが如実に表している。

子どもが運動不足に陥っている直接的な原因としては次の3つが挙げられる。

- 校外の学習活動や室内遊び時間の増加による「外遊びやスポーツ活動時間」の減少
- 空き地や生活道路といった子どもたちの手軽な遊び場の減少
- 少子化や校外の学習活動などによる仲間数の減少

活発に体を動かすことは成長・発達に必要な体力を高めることはもとより、運動やスポーツに親しむ心を育てることにつながる。また、病気から身体を守り、より健康的な体を作っていくことにもつながっている。

子どもたちが積極的に屋外で遊んだり、スポーツに親しんだりする機会が減りつつある現代。健全な生活を送るためにも、また意欲や気力といった精神面の充実を図るためにも、適度な運動を積極的に促す必要がある。子どもたちの体力の増進は、「生きる力※」の土台となる大切な要素。心身共に健康で

あつてこそ、子どもたちの「健やかな未来」は見えてくる。

毎日の陸上練習が 子どもの心身を強くする

本町を含む近隣市町では毎年、小学校高学年を対象とした陸上競技大会を開いている。子どもたちの健全な心身を鍛えることを目的として開催されるこの大会。短距離走、持久走、走り高跳びなど、子どもたちが体育の授業以外で、本格的な陸上競技と出合う場となっている。

専門的な陸上競技に打ち込み、各校の名を背負う自覚に目覚め、自身の壁を超えるために必死で練習に明け暮れる子どもたち。放課後の時間を使って汗を流し、ときには朝の時間に自主練習に励む。他者との競争であるのと同様に、自分自身との戦いでもある。その繰り返しが、子どもたちの身体を強くたくましく成長させていく。

今年もこの時期、放課後のグラウンドには先生たちの大きな声がかどまし、汗を流しながら生き生きと体を動かす子どもたちの姿が、毎日のように見られていた。

現代っ子の運動能力が低下している現状とそれに果たす陸上競技大会の役割

生きる力…■自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する能力■自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力—の2つをいう。新しい時代の子どもたちの学びの在り方、教師の指導と支援の在り方を方向づけることを目的に第15期中央教育審議会が提唱。

●身長・基礎的運動能力の比較

性別	男 子		女 子	
	親の世代 ▼	今の子ども ▼	親の世代 ▼	今の子ども ▼
身長	142.9cm	145.1cm (↑2.2cm)	144.9cm	146.9cm (↑2.0cm)
50m走	8.9秒	8.9秒 (0秒)	9.1秒	9.2秒 (↓0.1秒)
ソフトボール 投げ	35.3m	30.6m (↓4.7m)	20.5m	17.8m (↓2.7m)

※「親の世代」は昭和54年度の11歳、「今の子ども」は平成21年度の11歳で比較。
 ※全国平均値は小数点以下第2位で四捨五入しています。



翔 軽快なリズム、ハードルを越えていけるか。



向 ▲緊張が伝わる。スタートに向かう女子100メートルの選手たち。



待 突然の土砂降り。濡れる選手。一時競技を中断し、30分後再開。



飛 バーを怖がっていたら決して自己ベストは生まれない走り高跳び。助走スピードを、いかに「高さ」に結びつけられるかが鍵となる。



競 最高に盛り上がった学校対抗400メートルリレー。ゴール直前のデッドヒート。



跳 ▲踏切板に向かって目いっぱい加速。体をのけぞらせ、一気に空中に飛び出した走り幅跳び。気持ちはずいぶん速くへ。
投 ▲ボールを握りしめ、全身を弓のようにしなせながら思い切り力を込めて投げる。白球が曇り空に見事な放物線を描いた。



Zoom up

魂

未来のアスリートたちの競演
はるか彼方にゴールテープ
自分に勝ちたい、自分を超えたい…
子どもたちの視線の先に
暑い夏の日差しを見た—

燃やせ

平成23年度榛原地区北地域小学校陸上競技大会
本川根小学校グラウンド・7月26日 午前8時30分

この大会は、榛原地区教育協会が主催。町内の小学生高学年を対象として年一回開かれています。児童の運動能力や技術向上を目的とし、出場児童たちは、自己ベストを目指して競技に挑戦する。本大会が町内4小学校を対象として開かれるようになったのは平成20年。旧島田市と旧川根町が合併したことで今の運営形態に変更され、今年で4回目を迎える。種目は1100メートル、60メートルハードル、800メートル、41500メートル、4000メートル、4000メートルのトラック競技5種目と1走り高跳び、2走り幅跳び、3ボール投げのフィールド競技3種目が実施される。本格的な競技の数々に子どもたちが真つ向から挑む。町内の小学生にとって最も大きな陸上競技大会であり、各校を代表する選手たちは、下級生のあこがれの存在でもある。

代表というプライド、自分への挑戦

限界に挑みベストを尽くす夏
スターティングブロックに足を乗せ、「位置について」のかけ声とともに前を向く未来のアスリートたち。はるか彼方に目をやれば、ゴールテープが陽光に揺れていた。
町内各小学校の4から6年生が一堂に会し、記録を競い合う榛原地区北地域陸上競技大会は7月26日、本川根小学校で開かれた。午前7時半のグラウンドには、各校代表のユニフォームを身にまとった児童たちが姿を現し、おのおのがウオーミングアップを始めた。同大会は、榛原地区教育協会が主催。町内の小学生高学年を対象として年一回開かれています。児童の運動能力や技術向上を目的とし、出場児童たちは、自己ベストを目指して競技に挑戦する。本大会が町内4小学校を対象として開かれるようになったのは平成20年。旧島田市と旧川根町が合併したことで今の運営形態に変更され、今年で4回目を迎える。種目は1100メートル、60メートルハードル、800メートル、41500メートル、4000メートル、4000メートルのトラック競技5種目と1走り高跳び、2走り幅跳び、3ボール投げのフィールド競技3種目が実施される。本格的な競技の数々に子どもたちが真つ向から挑む。町内の小学生にとって最も大きな陸上競技大会であり、各校を代表する選手たちは、下級生のあこがれの存在でもある。



耐 トラックを周回する長距離走。自分との我慢比べの果てに…。



援 声を枯らして仲間を応援する選手。祈りにも似た表情で競技を見つめる。このあと仲間が出した好記録に喜びがはじけた。



支 大会スタッフ。細心の注意で競技進行を見守った。



挑 ゴールを目指してスタートを切る短距離ランナーたち。ライバルと競い合う瞬間、それと同時に、自分自身に挑戦する瞬間でもある。

前田花帆さん（中川根第一小学校6年）



昨年ボール投げに挑戦し、くやしい思いをしたので今年再挑戦しました。本番では、投げるタイミングも良く、うまく飛ばせた感触がありました。放課後の練習でみっちり投げ込んだ成果が発揮できたと思います。

山下由貴さん（本川根小学校6年）



私は60メートルハードルに出場しました。走っている間、みんなの声援が聞こえてきて、すごく励みになりました。そのおかげで精いっぱい力を出し切ることができ、レースでは1位になることができました。

大橋秀也さん（中川根第一小学校6年）



60メートルハードルと100メートル走、リレーに出ました。練習時間はほとんどハードル走に費やしました。最初はうまく飛ばなかったけど、先生のアドバイスで改善できました。練習よりうまく走ることができました。

和田泰成さん（本川根小学校5年）



僕は100メートル走に出場しました。走る前は全然自信が持たなくて、走り出すまで不安がありました。でも、実際に走ってみたらすごく調子が良くて。頑張って1位になることができました。とてもうれしかったです。

小西健斗さん（中川根第一小学校5年）



僕は1500メートル走に出場しました。本番ではすごく緊張したのでタイムが落ちると思ったけど、いつも以上に調子良く走れました。みんなの応援のおかげでちょっと速くなったかも。全力で走りきることができました。

宮島洗樹さん（本川根小学校6年）



僕は1500メートル走に出場しました。練習では、毎日長い距離を走ってきました。今日のレースでは最初からどんどん攻めていくことができ、ライバルの選手と争って1位になることができました。うれしかったです。

山下歩実さん（中川根南部小学校6年）



私は60メートルハードルに出場しました。今まで走ってきた中で今日が一番調子が良くて、頑張って走りきることができました。一生懸命走れたから満足しています。みんなの応援の声もとてもうれしかったです。

加藤大雅さん（中央小学校6年）



100メートル走はタイムは良かったけど1位にはなれずやしかったです。でも幅跳びもリレーも全力で挑みました。今日はほかの学校の子たちと勝負できて、話したりすることができてとても楽しいです。

塚本浩武さん（中川根南部小学校6年）



僕は60メートルハードルに出場しました。本番では一人抜くことができました。目いっぱい力を発揮できたと思います。レース中は、母や祖母が応援する声が聞こえてきて、すごくうれしく思いました。

小坂海結さん（中央小学校4年）



800メートルでは最後の最後で抜かれくやしい思いをしました。リレーではアンカーとして出場しました。この日のため朝の練習を繰り返してきたリレー。みんながつかないでくれたバトンを精いっぱいゴールへ運びました。

北原奏太さん（中川根南部小学校6年）



1カ月前くらいからこの日に向け、ボール投げの練習を重ねてきました。本番では自己ベストを出すことができ満足しています。友達みんなの声援を背に受け、思い切って投げることができたと思います。

蘭田菜良さん（中央小学校5年）



私はボール投げと100メートル走、リレーに出場しました。本番では練習通りの力を発揮できたと思います。スタート前にはみんなの声援が聞こえてきてすごくうれしかったです。さらに頑張ることができました。

子どもたちに感じる無限の可能性

競技を観覧した 佐藤公敏 町長

町内4校の子どもたちが一堂に会して開催される本大会。普段各学校で開かれる運動会とは違い、各選手たちのユニフォーム姿からは、代表としての風格が漂っていました。

人口8000人規模の小さな山あいの町ですが、ここから世界に羽ばたく選手が現れる可能性だってあります。懸命に、ひたむきに、ベストを尽くして頑張る子どもたちの姿からは、そんな無限の可能性を感じました。

夏を駆け抜ける、魂

出場選手に抜き打ちインタビュー。みんな、練習し

け抜けた。フィールドでは走り幅跳びなどの種目も始まっている。全身をバネのようにしながら、空に向けて一気に飛び出す幅跳び。向かって一気に出す幅跳び。全身の力を溜め、力いっぱい投げるボール投げ。どの種目も、子どもたちのひたむきさが光った。見る者の心を打った。額の汗が、首筋の汗が、大会にかけて子どもたちの「思い」を物語っていた。

途中降雨による中断などもあったが、大会事務局の適切な処置と努力によって、全ての競技を滞りなく終了させることができた。閉会式。子どもたちが見せる満面の笑顔が、晴れ間から差し込む日差しに映えていた。今年も盛況のうちに幕を閉じたこの大会。子どもたちの心に残ったものは、果たしてやり遂げた充実感だけだろうか。

を震わせろ。ゴールは目の前だ

た成果を全部出し切り、精いっぱい挑むことができたのか。生の声を聞いてください

「100メートル走の選手は所定の位置に集まってください」。場内アナウンスが流れるたび、緊張した子どもたちが移動を始める。「頑張つて」「しつかり」。その背中に、他種目に出場する子どもたちがエールを送る。次々にスタートのピストルが鳴り響く。短距離走、ハードル、長距離走…。ほんの数秒、数分の本番のために練習を重ねた子どもたち。どの子もしつかり大地を蹴り、ゴールを目指して駆

グラウンド脇にずらつと並んだテントには、真っ黒に日焼けし、自信に満ちた顔が並ぶ。自己ベストを目指し、炎天下の練習を積み重ねてきた子どもたちが、今か今かと出番の時を待っている。

「自信に満ちた顔が並ぶ」



魂を燃やせ

Zoom up

本川根小学校グラウンド
7月26日 午前8時30分

平成23年度
榛原地区北地域小学校
陸上競技大会

授業が終わってからの時間を陸上練習に費やします。体を使って、汗を流し、懸命に取り組みます。「ハードルはどうやったら早く駆け抜けられるのか」「高跳びを高く跳ぶタイミングは」「100メートルはどうしたら早く走れるか」「1500メートルのペース配分は」…。最初は、いやいやだった子どもたちが、先生のアドバイスを熱心に聞くようになり、やがて競技と真剣に向き合う姿勢が生まれてきます。中には自主的に練習を始める子もいるんですよ。朝の登校後、「高跳び用のマットを出してもいいですか」と聞かれて驚いたこともありましたが、そうやって、自分を高めていく場でもあるんですね。

陸上競技大会は、子どもたちが陸上と出会う最初の一步。この大会を経験したことで陸上の魅力を知り、その道に進んでいく子もいます。体育の教師を目指す子もいれば、高校の陸上部の監督になった子もいるんですよ。

どの学校でもそうですが、子どもたちには「大会の中で練習の成果を存分に発揮しよう。今までで一番いい記録を出そう。そのために精いっぱい頑張ろう」と話しています。他校の選手との競争であり、自分自身との競争でもある。すべてがチャレンジ。そんな大会なんですね。

保護者の皆さんは、わが子の「順位」だけを見比べるのではなく、その子が出した記録にこそ目を向けて「頑張ったね」とほめてあげて欲しいですね。

経験になることでしょう。5・6年生は全員が何らかの競技に参加します。特定の子だけが選手として選ばれ、他校と競い合うのではなく、全員がベストを尽くすことができる。どの子も平等にチャンスがあります。本大会はそういった大会なのです。

自分自身に精いっぱい挑み、他校の子たちと競い合う。勝つ喜び、負けるくやしさを味わうことで、子どもたちはさらに成長してくれると思います。日々の生活の中での「生きる力」を身に付けることにもつながっているんです。

最近では、体を動かさない子どもが増えたといわれています。家に帰っても外には出ず、友達と遊ぶこともしない。遊んだとしても、家の中でテレビゲームをする…。そんな子どもが増えているのは確かなようです。そんな中、この地域ではこの時期、4、5、6年生が

町内の子どもたちは5月から、この陸上競技大会に向けて練習を重ねてきました。どの小学校も、この季節は学校行事が多いため、その合間をぬっての練習となります。平日の使える時間を目いっぱい使って、一生懸命練習に励んできました。

本大会は町内4校の代表選手が勢ぞろいして開かれます。校内の大会ではなく、この規模でやるからこそ意義があります。自己記録更新にチャレンジする良い機会であるとともに、他校の選手の走りなどを見ることにもつながります。「校内では1番足が速いけれど、他校の子と比べたら、どうなんだろう…」というように、自分を見つめ直す良いきっかけになると思います。町内の同じような環境下で育った、同じ年代の子どもたちが、回りを知る初めての機会。どの子も貴重な

子どもたちが陸上競技と出会う場所 順位ではなく「記録」にこそ目を向けて

考

陸上競技大会が
子どもたちに
与える効果とは

異様な光景だ。そんな子どもたちの姿を、よく見かけるようになったのは、いつの頃からだろう。

野球、サッカー、魚捕り、缶けり…。携帯ゲーム機が一般に普及していなかった少し前の時代。学校から帰ったら、外に出て友達と遊ぶのが当たり前だった。男の子も女の子も、低学年も高学年も関係なく、大きな声を張り上げ、いっぱい汗をかいて、服を泥だらけにしながら、時間を忘れ夢中になって遊んだ。家に帰ると親によく叱られたものだ。

決して「その時代が最高だった」というつもりはないが、子どもが最も子どもらしい時代だったような気がする。榛原地区北地域陸上競技大会は子どもの身体能力や体力の向上を目的として開かれる。大会に向けた期間中、子ども

たちは授業が終わった後、グラウンドに繰り出してそれぞれの練習に励む。最初はあまり乗り気ではなかった子ども、みんなで励まし合いながら練習に打ち込むことで、いつしかその競技と真剣に向き合う姿勢が生まれてくる。

きずなを深め合う効果も

会場で見かけるのは子どもだけではない。帽子をかぶり、首に保冷剤を巻き付けて観戦する保護者の姿も多く見られた。大きく手を振り、声を枯らして応援する大人たちの姿は、きつと何より励みになったことだろう。

「今日の練習は疲れたよ…」と、学校から帰るなりぐちをこぼす子ども。そんなわが子を優しく見つめ、ねぎらいの言葉をかけた保護者も多かったのではないだろうか。練習・大会を通して、会話が増えた親子もきつと多かつたはずだ。

子どもたち同士の連帯感や

団結力も高まったのではないかと。どの子も、自分の競技が終わったら、すぐに応援席に戻り、自校の出場選手に向けて精いっぱいエールを送っていた。手作りの小旗を振って応援する学校もあったほどだ。団結力、結束力、連帯感…。そんなきずなの成長も見えてきた。

自分の競技が終わったあと、他校の選手と談笑する姿も見られた。子ども同士、新たな交流が芽生えていたのもほほ

笑ましい光景だった。

審判、係員など裏方の活躍も忘れてはならない。選手が競技に集中できるよう、細心の注意を払いながら運営に当たる各学校の先生やPTA関係者たち。ゴールした選手に優しく声をかけると、子どもたちは本当にうれしそうに心えていたのが印象的だった。

今の親が子どもの時代から繰り広げられてきたこの大会。決して、練習の成果を披露するだけの場ではない。きずなを深め、新たな交流を生み、目標を持つ大切さを知り、代表としての自覚を促し、やり遂げた充実感を味わう…。

運営形態は変わっても、毎年さまざまな効果を生み出し続ける陸上競技大会。

来年は、どんなドラマを見せてくれることだろう。

種目	氏名	小学校	記録
1500メートル	宮島洸樹	本川根小	5分20秒5
60㍍ハードル	山下素弘	本川根小	10秒4
ソフトボール投げ	三倉 怜	中川根南部小	49.70㍍

町内
新記録
達成者

取材撮影協力：岩下聡(吉田町)、赤堀景介(菊川市)、山崎雄太(菊川市)

榛原地区教育協会副会長
松本晴巳
(本川根小学校校長)



榛原地区北地域小学校
陸上競技大会

魂を燃やせ

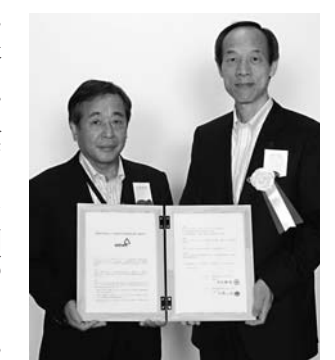
本川根小学校グラウンド
7月26日午前8時30分

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の調印 豊かな森から出される木材を都市へ

本町は7月8日、港区立エコプラザ（東京都港区浜松町）で、港区が創設した間伐材を始めとする国産材の活用を促進する「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の協定を結びました。本制度は、都市部の間伐材を始めとした国産材の活用を通じて日本の森づくりを進め、森林の二酸化炭素吸収量を増大させることで、林業の活性化と低炭素社会の実現に役立てようとする制度です。



港区立エコプラザでの調印式のもよう。



港区長（右）と佐藤町長

治体は、全国の山間部を中心に32自治体あり、本町は県内で初めての協定締結となりました。今後は、10月から制度運用を開始。港区内の建築物に、協定を結んだ自治体からの木材を積極的に活用していく予定です。材価の下落や山林所有者の高齢化などを背景に、林業の厳しい状況が続く中、本制度を活用することで、「新たな木材の流通経路を開拓、林業振興に結びつける」ことを期待しています。また、木材供給だけではなく、首都圏へ本町をアピールする絶好の機会ととらえ、特産品や観光面などの魅力も同時に売り込むことで、交流人口の増加にも結び付けていきたいと考えています。

産業課 ☎(56)22226

SLに、会いに行く。

10/7 ▶ 10
fri mon

SLフェスタ2011 Steam Locomotive Festival

- | 新金谷駅 | 千頭駅 | ローズアリーナ(島田市) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>●10月7日 全日</p> <p>SL乗車体験、転車台OPセレモニーと手回し体験、SL列車体験、PRブース・物産販売・フードコート、グッズ販売、写真教室&写真展</p> <p>●10月8日 全日</p> <p>SLサミット、SL列車体験、PRブース・物産販売・フードコート、グッズ販売、SL重連・電気機関車走行</p> <p>●10月9日 全日</p> <p>SLフェスタINかなや、SLトークショー、PRブース・物産販売・フードコート、グッズ販売、写真教室&写真展、SL重連・電気機関車走行</p> <p>●10月10日 全日</p> <p>グッズ販売、写真教室&写真展</p> | <p>●10月7日 全日</p> <p>クラウンパーティー、物販・体験コーナー（9日まで）、家族の似顔絵書き</p> <p>●10月8日 全日</p> <p>SL列車大集合、SLサミット 歓迎セレモニー（川高生赤石太鼓）、鼓動&躍動ライブステージ（町内外パフォーマーによるステージ）</p> <p>●10月9日 全日</p> <p>SL列車体験（転車台手回し・運転手体験・レールスクーター体験）、列車GO!ワンダーランドへ出かけよう、だめじゃん小出の鉄道トークライブ、けん玉パフォーマンスショー、中国雑技張海倫の高椅子アクロバットショー</p> | <p>●10月7日 全日～10日 全日</p> <p>鉄道模型コーナー、鉄道ミュージアム、鉄道写真展、プラレール、親子の室内遊び場（ポネルンド）、ミニ四駆大会、フードコート・物産販売</p> <p>※7、8日にはサプライズイベントを計画しています。</p> |

SLフェスタの情報はこちら
http://www.sl-festa.jp/

問い合わせはこちら
島田市企画課 ☎0547 (36) 7121
✉kikaku@city.shimada.shizuoka.jp

主催：SLフェスタ2011実行委員会 共催：島田市、川根本町、大井川鐵道株式会社
後援：国土交通省観光庁、静岡県 協力：助静岡県市町村振興協会、静岡市ほか

10月1日は「浄化槽の日」です 浄化槽のこと、改めて考えませんか

受検は忘れずに
浄化槽管理者は浄化槽設置時（浄化槽法第7条）と年1回（浄化槽法第11条）の法定検査が義務付けられています。静岡県では（財）静岡県生活科学検査センターが知事の指定を受けています。忘れず受検しましょう。
【問】（財）静岡県生活科学検査センター 焼津検査所施設検査部
☎054 (621) 5030

10月1日は「浄化槽の日」です。浄化槽法の普及促進と法律の周知を通じ、生活環境の保全と公衆衛生の向上を目的としています。

定期的な点検と清掃を
浄化槽の使用（管理者）は、保守点検・清掃・法定検査を定期的に実施することが、法律で



合併処理浄化槽▶ 微生物の働きを利用して、トイレや台所、ふろなどの生活雑排水をきれいにする装置。

義務付けられています。これは、家庭から出る汚れた水をきれいにする機能を、正常に保つための大切な作業です。

維持管理者は、あらかじめ専門の業者（県の登録業者。清掃の場合、町の許可業者）と委託契約を結び、定期的に点検を実施しましょう。

浄化槽設置には補助金
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽設置整備事業を実施する者に対して、予算の範囲内で補助します。

※補助の条件として、1 町内に住所があり、2 町内に所有する建物で、3 主に住むために使う建物に合併処理浄化槽を設置する場合に限り補助をします。

浄化槽への補助額	人槽区分	補助基本額	県費加算基本額	補助限度額
	5人槽	332,000円	83,000円	415,000円
	6～7人槽	414,000円	103,000円	517,000円
	8～10人槽以上	548,000円	137,000円	685,000円

生活健康課 ☎(56)22222

くらしの カレンダー 2011 9月

役場本庁

【代表電話番号】 ☎56-1111

1F 税務課 ☎56-2223
福祉課 ☎56-2224
地域包括支援センター ☎56-2225
生活健康課 ☎56-2222
建設課 ☎56-2227
出納室 ☎56-2228
総務課 ☎56-2220
企画課 ☎56-2221
産業課 ☎56-2226
議会事務局 ☎56-2229

総合支所ほか

【代表電話番号】 ☎59-3111

1F 商工観光課 ☎58-7077
管理室 ☎58-7073
住民生活室 ☎58-7070
福祉介護室 ☎58-7071
産業建設室 ☎58-7076
教育総務課 ☎58-2555
生涯学習課 ☎58-7080

文化会館 ☎59-3106
本川根B&G海洋センター ☎59-3332
山村開発センター ☎56-2231

各種相談・お知らせ

- 行政相談
9月21日 ☎ 9:00~11:30 生活改善センター
【問】総務課 ☎(56)2220
- 社会福祉協議会「よるず相談」
9月21日 ☎ 9:00~11:30 生活改善センター
- 社会福祉協議会「よるず相談」
9月14日 ☎ 9:00~11:30 文化会館
- 社会福祉協議会「法律相談」
9月28日 ☎ 10:00~15:00 生活改善センター
【問】社協本川根 ☎(59)2315 社協中川根 ☎(56)1872
- 精神保健福祉総合相談（精神保健、断酒など）
9月28日 ☎ 藤枝市中部健康福祉センター 13:15受付（断酒会）
9月22日 ☎ 島田市保健福祉センター 14:45受付
※要予約 中部健康福祉センター 障害福祉課 ☎054(644)9279

やまびこ号のコース

	地名集会所	西地名	塩郷	下泉駅	下泉原	農協茶工場	南部小学校	高郷住宅	
Aコース	着 9:15	9:40	10:10	10:30	10:50	11:15	13:15	13:45	
	発 9:35	10:00	10:25	10:45	11:05	11:35	13:35	14:00	
Bコース	着 9:20	10:00	10:30	11:10	13:05	13:30	13:45		
	発 9:40	10:20	10:50	11:30	13:25	13:40	13:55		
Cコース	着 9:15	9:40	10:10	10:40	10:55	11:15	13:30	13:55	14:25
	発 9:30	10:00	10:30	10:50	11:05	11:35	13:45	14:15	14:45
Dコース	着 9:15	10:00	10:35	11:05	11:25	13:10	14:00	14:25	
	発 9:35	10:30	10:55	11:20	11:40	13:30	14:20	14:40	
Eコース	着 9:30	10:30	10:55	13:00	13:40	14:25			
	発 9:50	10:50	11:15	13:20	14:00	14:45			
Fコース	着 9:15	9:35	10:00	10:30	10:55	13:05	13:50	14:10	14:30
	発 9:30	9:55	10:15	10:50	11:15	13:20	14:00	14:20	14:40



日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
1 木			子育て支援ひだまり・9月の予定 1日 ☎ 防災訓練 8日 ☎ あそびの教室(親子ふれあい遊び・生きがいの湯) 10日 ☎ ひだまり運動会 20日 ☎ 0、1歳親子ふれあいデー 22日 ☎ あそびの教室(親子運動遊び・開発センター) 27日 ☎ さゆり幼稚園との交流会 【地名保育園開放】 29日 ☎ おたのしみ会、誕生会 9/2、16、30 子育て支援施設 ☎(57)22311 地名保育園(開放日) ☎(56)0605		10月は「里親月間」 里親制度とは、さまざまな事情によって家庭で養育されることが難しい子どもを、知事の認定した里親に預け、家庭の中で温かい愛情をもって育てようとする制度。子どもの養育に理解と熱意をもち、豊かな愛情をもっていることが何より大切です。里親の申し込みは通年受け付けており、県が実施する研修を修了し知事が認定した人は里親名簿に登録されます。里親には、委託期間や目的などによって4種類あります。養育里親…要保護児童を養育する里親 専門里親…2年以内の期間、虐待を受けた児童などを養育する里親 親族里親…両親などが死亡、行方不明または拘禁などの状態にある三親等内の要保護児童を養育する里親 養子縁組希望里親…養子縁組によって養親となることを希望する者 里親になったら、児童相談所が里親の希望を聞いた上で、養育をお願いする子どもを決定します。養育をお願いしている間は、必要な経費が支払われます。子育ての悩みや不安は児童相談所などが相談に応じます。
2 金	◆定例健康相談 千頭東区会館 9:30~11:30 ◆地区巡回健康相談 寸又峡公民館 13:30~15:30			Aコース	
3 土					
4 日		かなや眼科 島田市金谷扇町3639 0547-45-0010			
5 月	◆榎原医師会特定健診・後期高齢者健診 崎平地区集会所 13:00~13:45		◆B & G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Bコース	
6 火	◆子宮頸がん・乳がん検診 文化会館 (9:15~11:00) ◆榎原医師会特定健診・後期高齢者健診 梅高集会所 13:15~14:00		志太榛原地域救急医療センター 9月の診療についてご案内 診療時間 月曜~木曜日 午後7時30分~10時 金曜~日曜日 午後7時30分~翌午前7時 診療科目 内科・小児科 ※ただし9月3日、10日、17日、24日の午後10時から翌日午前7時は小児科のみの診療となります。	Cコース	
7 水					
8 木	◆あそびの教室 創造と生きがいの湯 10:00~11:30 ◆榎原医師会健診結果説明会 (8/11受診者) 水川集会所 13:30~15:00		藤枝市瀬戸新屋362-1 ☎054(644)0099	Dコース	
9 金	◆定例健康相談 山村開発センター 9:30~11:30 ◆地区巡回健康相談 吉町河内集会所 13:30~15:30				
10 土					
11 日		上長尾診療所 川根本町上長尾915-5 0547-56-1800			
12 月	◆ことばの相談(予約制) 山村開発センター (9:30~11:30)		◆B & G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Eコース	
13 火					
14 水	◆定例乳幼児相談 創造と生きがいの湯 9:30~11:30				
15 木	◆ママケアスクール 山村開発センター 10:00~11:30				県子ども家庭課 ☎054(221)2922 中央児童相談所 ☎054(286)9236

日・曜	健康・子育て支援など ※()は受付時間	休日当番医	各施設の予定	やまびこ号	家族の予定
16 金	23年度訪問看護就業セミナーを開催します 目的 訪問看護のやりがい、楽しさ、おもしろさを知る機会とし、訪問看護への就業につなげる。 中部会場 あざれあ第1会議室 日時 10月6日、13日 午前9時30分~12時30分 10月1日、8日 午前9時30分~12時30分 対象 看護職資格者(受講無料) 申込締切 各日程の10日前までに電話、ファクスで。 ☎054(202)1752 FAX054(202)1753			Aコース	
17 土					
18 日		織田医院 島田市金谷上十五軒1997 0547-45-3042	◆B & G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館		
19 月		林医院 島田市川根町家山544-1 0547-53-2352	◆B & G海洋セ：夜休館		敬老の日
20 火	◆榎原医師会特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (13:15~14:00)		◆B & G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館		
21 水	◆定例乳幼児相談 山村開発センター 9:30~11:30 ◆小児科健康相談(予約制) 創造と生きがいの湯 14:00~16:00			Bコース	
22 木	◆あそびの教室 山村開発センター 10:00~11:30 ◆おじさんキッチン 文化会館 10:00~12:00				
23 金	就職面接会「若年者等就職フェア」開催 中部会場 グランシップ1階大ホール 日時 9月27日 12時30分~55分(面接直前セミナー) 午後1時~4時(面接会) 内容 企業人事担当者との面接。選考、各種相談会など	平井医院 島田市金谷本町1945 0547-46-2236	◆B & G海洋セ：夜休館		-INDEX- コンテンツボランティアダンスワークショップ&ダンス公演 文化会館 9月23-25日 21ページへ
24 土					
25 日	県労働局職業安定部職業安定課 ☎054(271)9968 県経済産業部就業支援局雇用推進課 ☎054(221)92811	坂井医院 島田市金谷都町10-1 0547-45-2069			
26 月	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (8:30~10:30) ◆榎原医師会健診結果説明会 (8/31受診者) 久保尾集会所 13:30~15:00		◆B & G海洋セ：休館 ◆文化会館：休館	Cコース	
27 火	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (8:30~10:30) ◆さゆり幼稚園「乳幼児のための親子登園〜お母さんと一緒に幼稚園で遊ぼう〜」 10:00~12:00 ☎(57)2233				
28 水	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (8:30~10:30) ◆2歳・2歳6カ月児歯科検診 文化会館 (12:30~13:00)			Dコース	
29 木	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (8:30~10:30)				
30 金	◆静岡厚生病院特定健診・後期高齢者健診 山村開発センター (8:30~10:30) ◆竹の子会 久野脇親水公園 9:45~14:00				

東名集中工事
10/4(土) → 10/15(日)
9日(土)午前0時から11日(日)24時までは、工事休止
東京IC ← 東名高速道路 → 小牧JCT
安全・安心・快適のために、
ご理解ご協力をお願いします。

休日当番医はこちらのホームページでご確認ください。 子育て支援施設 ☎(57)2231 休館日：日、月、祝日
 榎原郡医師会HP <http://www.haibara-med.or.jp/>

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、広報編集時の予定です。予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。

ここにも、一つの物語。 広報かわねほんちょう

総合計画「子ども会議」を開きました

子どもの目線から町の未来を考える

町は、平成18年度に策定された第1次総合計画が5年目を迎えるため、変化する社会情勢などとの整合を図るよう計画を見直すほか、後期基本計画の策定を進めています。総合計画の策定では、町民の皆さんの参加を進め、計画に意見を反映していく考えです。この計画に未来を担う子どもたちの意見を採り入れるため、7月29日には中学2、3年生による「総合計画子ども



テーブルを囲んで活発に意見合いました。

会議」を開催しました。

子ども会議では、総合計画に掲げられている4つのシンボルプロジェクトに基づいて討論。「本町のウオーキングコースをみんなに知ってもらおう」「大井川や南アルプスで自然体験教室を企画する」「高齢者も安心して暮らせるよう、仕事場として福祉施設を増やす」「本町のオリジナルキャラクターをつくる」など、さまざまな視点から、活発な意見が飛び交いました。普段なかなか交流を持つ機会のない本川根中と中川根中の生徒の交流の場にもなっていました。

総合計画は、平成28年度までの期間に、町の将来像実現のための基本的施策を明らかにする計画です。今回参加した子どもたちが平成28年度を迎えるとき、ちょうど20歳を迎えます。この場で「これからのまちづくり」について語り合った内容がどれだけ実現できているか。会議に参加した子どもたちの目に、未来の町はどのように映っているのでしょうか。

問い合わせ まちづくり観光協会内 松本美乃里 ☎(59)2746

早いもので、私がこの川根本町に来てから5カ月が経過しました。顔見知りの人もだんだん増え、ようやくこの町に馴染んできた感じがします。

7月から8月にかけては、「10人乗りのEボート体験」や子ども向けの「わんぱくセミナー」など、川を使ったプログラムを中心に実施しました。今後は、この地域の産業や文化の体験や秋のトレッキングなど、里や山でのプログラムがメインとなっていきます。

これからいよいよ、1年で最も多くのプログラムを実施する時期を迎えることとなります。私も、もう一度気を引き締め直して頑張りたいと思います。

さて9月には「稲作体験」「流木アート体験&自家製小麦のパウンドケーキ作り」「キャンプ&カヌー」「滝で森林浴とヨガ」などを予定しています。

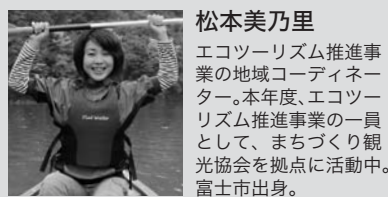
「稲作体験」は、地名地区の田んぼを

お借りして、本年度に入ってから4回シリーズで実施しているプログラムの3回目です。「雑草取りとかかし作り」を予定しています。

また「流木アート体験&パウンドケーキ作り」と「いかだ作り&キャンプ」は、本年度新たに企画したプログラムです。参加者の皆さんに楽しんでもらえるよう、現在、スタッフの皆さんと一緒にさまざまなアイデアを出し合っています。

さらに、「滝で森林浴とヨガ」は、5月に1度募集して、参加者が少数のため中止となったプログラムです。今度こそは成功させようと、自然にPRにも力がこもります。

これからの季節、ますます外に出る機会が増えるかと思えます。私を見かけたら、顔見知りの皆さんはもちろんです。そうでない人も、ぜひ気軽に声をかけてくださいね。



松本美乃里
エコツアーリズム推進事業の地域コーディネーター。本年度、エコツアーリズム推進事業の一員として、まちづくり観光協会を拠点に活動中。富士市出身。

「緑茶の里いい歯キラリ番人の歯コンクール」は7月28日、山村開発センター和室などで開催され、満70歳以上の22人が参加しました。

歯の大切さを再確認し、これからも健康的な生活を送ってほしいという願いが込められたこのコンクール。渡辺歯科医院の渡辺克也医師が審査委員を務め、金の部（満80歳以上）9人、銀



健康な歯が、元気な笑顔と元気な毎日をつくれます。

の部（満75から79歳）5人、銅の部（満70から74歳）8人の各部門に分かれて審査しました。結果、金の部は山口教平さん（藤川）が第1位に輝きました。教平さんは昨年に引き続き金の部1位となります。

渡辺克也医師は「口内の健康は体全体の健康につながります。これからも健康な歯を保って健康な生活を送ってください。また来年も元気な笑顔を見せて欲しいと思います」と講評を述べました。

佐藤公敏町長は「自分の歯を一本でも多く持ち続けることが人間の幸せの一つ。何でもおいしく食べられて、体の健康を保ち、良い笑顔の源でもあります。これからも大切にしてください」と話しました。

【審査結果】

金の部 ①山口教平 ②山本學 ③前澤虎平、銀の部 ①小西學 ②長濱辰巳 ③藤田ときえ、銅の部 ①植村哲司 ②山本綾子 ③森永里美（敬称略）

健康な歯で元気な毎日を過ごします

生活健康課 ☎(56)22222

本町では静岡県と一体となつて「TOUKAI-O」総合支援事業を推進しています。

東日本大震災の発生を受けて、防災意識が高まっている今だからこそ、大規模災害に備えた「わが家の耐震対策」を検討してみませんか。

家屋の耐震化については次の1（耐震診断）と4（補強工事）の順に沿って進められます。

1 耐震診断

診断無料。昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅に対して実施します。申し込みは電話一本で可能です。

2 工法検討

診断結果により耐震対策の工法を検討。総合評点が1・0未満の場合は耐震工事を勧めます。

3 補強計画

専門家（建築士）による「補強計画」を有料で作成。費用はおおむね15万円前後です。この補強計画作成費用に対し3分の2（最高9万6千円）の補助金

が交付されます。

4 補強工事

計画に基づき、耐震補強工事を施工します。この工事費用に対し、一般世帯は最高30万円、高齢者だけの世帯または身体障害者の人が同居している世帯は最高50万円、大井川産材を使用した場合には最高50万円の補助金が交付されます。

5 減税措置

耐震補強工事で、所得税の控除と固定資産税の減額が受けられます。

■その他の補助

①ブロック塀などの撤去 ②定住目的の新築住宅（町内業者が元請け・大井川産材を使用）などにも補助成度があります。詳細はお電話ください。

これら全ての耐震対策の補助制度には、いくつかの条件があります。詳しい話を聞いてみたい、分からないことがあるなどの場合には、気軽に建設課までお問い合わせください。

大規模災害に屈しないための大きな一歩
地震への備えTOUKAI-O推進中

建設課 ☎(56)2227



灯をともし川に流す「たい」。流れゆく姿を参加者全員で見つめました。

祈りを込めて川に流す「たい」

「平谷の流したい」地区住民総出のにぎわい

文政11年7月1日(1828年)、豪雨によって発生した洪水のあと、地域にまん延した伝染病によって多くの犠牲者が出ました。この大自然の怒りを静め、犠牲者の霊を鎮めるため、水の神を祭るようになったのが平谷の流したいの由来とされています。

14日の午後5時近くになると、瀬平地区の大井川河川敷には、手に手に「たい」の材料を持った住民たちが続々と集まりだします。わらの束、長くて太い竹など、分担して持ち寄られたそれらの材料は、あっという間に小山のようになりました。

人数がある程度出そろった5時過ぎ。いよいよたいの製作が始まります。松明を支える台座作りでは、数人の大人が太い竹を割って棒状に加工。それを円形状に組んで針金で固定します。その外側には何重にもわらを巻き、台座部分が完成します。皆さん毎年やっているだけに手慣れた様子。まるで職人の技を見ているかのようです。完成した台座の上には別の場所で作られた3本の松明が載せられ、「たい」が完成しました。

そのかたわらでは、中川根南部小の児童たちが、ミニたい作りに励んでいました。大人たちのアドバイスを受けながら、見よう見まねで直径2cmほどのミニたいを作り上げました。

午後6時半、完成した「たい」と「ミニたい」に祈りがささげられ、男衆数人の手で、夕闇せまる大井川へと流されました。ミニたいも同様に、大人と子どもの手によって川に流されました。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



8月2日から現地入り、4日からのレースに挑戦します。

川高カヌー部がIH出場報告

インターハイ(宮城県)での健闘を誓う

本年度、宮城県で開かれる全国高等学校総合体育大会カヌー競技に出場する川根高校カヌー部9人が7月25日、出場報告のため佐藤町長の元を訪れました。

今回がIH初出場の部員が多く「初めての大会なので、緊張しないようにレースに臨みたい」といった抱負が多く聞かれました。佐藤町長は「IHは高校生にとって最も大きく、レベルの高い大会です。皆さん精いっぱい挑んでください」と激励を送りました。



減災社会構築への心構えや行動について学びました。

減災に向け、今「何」をすべきか

本町商工会主催の危機管理講演会を開催

本町商工会が主催する「危機管理講演会」は7月27日、文化会館で開催されました。講師として招かれた県危機管理部危機報道監の岩田孝仁さんは、本町が東海地震に直面したとき、私たちはどのような行動や対応が必要になるのか、被災後の諸問題解決のためには何が重要なのかについて、過去の経験や独自の調査から分かりやすく講演されました。多くの町民が会場に足を運び、災害に負けないまちづくりを学びました。

川根茶を学び「誇り」に思う

川根茶塾の本年度の開講式と第1回講座

川根茶塾は「川根茶を生産、流通、販売だけでなく、その歴史、文化」など多角的に学ぶ講座。本年度の開講式は7月23日、山村開発センターで開かれ、塾生17人が参加しました。開講式では佐藤公敏塾長が「地域ぐるみの川根お茶街道として、交流の場づくりをしてほしい」と塾生に向けメッセージを送りました。

引き続き開催された第1回講座では「大井川お茶街道計画」について田中孝治さんが講演をされました。



田中孝治さんが講演「大井川お茶街道計画」

感謝込め、安全願い清掃活動

こんばんわ会が環境美化で汗を流しました

まちづくり有志の会「こんばんわ会」8人は7月3日、小井平一十頭両国間の国道に設置されるカーブミラー50基の清掃と周辺環境美化活動を実施しました。汚れが目立つカーブミラーを高圧洗浄機とデッキブラシを使って丹念に水洗い。それに併せ、ミラーにかかる小枝の剪定なども実施しました。

終了後には会員から「観光客を気持ちよく迎えるため、また秋にも実施したい」と意見が聞かれました。



高圧洗浄機を使って1基1基丁寧に清掃しました。

川根地区3中学校(本川根中、中川根中、川根中)と川根高等学校が連携して実施する地域の清掃活動「川根の郷美化作戦」は7月28日、本町内と川根中学校区で実施されました。活動を通して、地域への愛着を深めることが目的。平成14年から始まり、今年で10回目を迎えます。今回から、名称を「川根の郷美化作戦」に改めたこの活動。川根高校206人、本川根中61人、中川根中109人、川根中140人が活動に励みました。

午前8時30分。各活動場所に集合した生徒たちは、草取りやガードレール清掃、ゴミ拾い、集会所の清掃など、それぞれの持ち場で作業に汗を流しました。

千頭駅前では、主に駅前道路のガードレールを清掃しました。たわしや雑巾を手に持ち、ガードレールを丹念に水洗い。みるみるうちに元の白さを取り戻しました。

中高一貫で地域を愛する活動

学生たちによる「川根の郷美化作戦」を展開



総勢500人以上の学生が参加した美化作戦。全21カ所で展開。

Topics

川根本町の まちの話題

視野を広め、健康で楽しみのある生活を

すこやか大学「開校式および第1回学習会」を3会場で開催
すこやか大学（概ね70歳以上の町民）の「開校式および第1回学習会」は南部で7月14日、北部で18日、中部で26日に開催されました。本年度のすこやか大学の受講生は170人。「学習会を通して視野を広め、健康で楽しみある生活を過ごせるようにする」の目標のもと、年4回の学習会を計画しています。

第1回学習会は、カイロプラクター（整体師）の奥野雅海さん（梅高）を講師に迎え、「姿勢と健康～上手な身体の使い方！」をテーマに講習会を実施しました。

雅海さんは講義の中で「骨盤のゆがみは、日々の生活習慣から生じることが多いため、普段からの心がけが大事。歩く

ときには骨盤を中心とした身体の使い方をするといいでしょう。痛いといって体を動かさないと、使わない筋肉を低下させてしまいます。なるべく動かすようにしましょう」など、受講生に向けてアドバイスを送りました。雅海さんは加えて「スポーツと同様に、農作業の前後にも筋肉をほぐしてほしい」と話しました。

受講生は、「実際に体の模型を使って教えてくれたので分かりやすかった」「これからは骨盤を意識して歩きたい」などの感想が聞かれました。

この学習会を機会に、身体を上手に使うコツを覚え、ますます元気な毎日をごしたいものですね。



奥野雅海さん指導による「姿勢と健康～上手な身体の使い方～」



今月の予定

- 14日水 むつみ学級第2回学習会
(視察研修)
- 20日火 すこやか大学・南部第2回学習会
- 22日木 すこやか大学・中部第2回学習会
- 29日水 すこやか大学・北部第2回学習会

今月の町民ギャラリー展示

手工芸作品展 高齢者生きがいの郷・むつみの郷
(本町生きがい対応型デイサービスセンター)

今月の文化会館ロビー展示

切り絵展 森下元司(下長尾)、小澤久美子(梅高)

役場、文化会館にお越しの際は、ぜひ作品展示会場にお立ち寄りください。

ベストを尽くし、最後まで走り抜きます

①選手およびスタッフ顔合わせ会

12月3日に開催される第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会。その選手およびスタッフ顔合わせ会は7月31日に開かれました。顔合わせ会では、瀧尾実行委員長から激励の言葉が送られ、その後監督とスタッフが自己紹介、続いて選手候補者が自己紹介しました。選手候補者からは「今年は選手になれるように頑張りたい」「少しでもチームの力になれるように頑張りたい」「ベストを尽くして頑張ります」など、それぞれが抱負を述べました。

中村コーチからは今後の練習日程などについて説明があり、候補者たちは熱心に聞いていました。

②選手候補者、保護者それぞれを対象とした講演

顔合わせ会が終わったあとは選手候補者に対する講演会と保護者を対象とした講演会が開かれました。選手候補者への講演会では、講師として招かれた川根高校河原崎全校長が「駅伝練習に臨む

心構えと練習方法」について話されました。保護者への講演会では、池本祐子保健師が「駅伝練習に臨む子どもの食事・栄養管理」について説明しました。

今後、記録会を実施し、登録選手20人を決定していきます。本町の代表として練習に励む選手候補者たちに、温かいご声援をお願いします。



自己紹介と決意を述べる選手候補者たち

決意と希望、ほんの少しの不安を胸に「旅立ち」

本町中学生の海外英語研修（カナダ）壮行会

中学2年生を対象とした海外英語研修の壮行会は7月26日に山村開発センターで開かれました。本年度は中学2年生18人が、8月1日から10日まで、カナダでの語学研修に臨みます。

壮行会に参加した中学生は、佐藤町長や保護者らを前に「外国の文化を知り、日本の文化を伝えたい」「ホストファミリーや友達と積極的にコミュニケーションをとりたい」と決意を述べました。

参加者一行は、佐藤町長や山下教育委員長らの激励を受け、8月1日に出発式を開いたのち、元気に出発しました。現地ではバンクーバー市内に

ホームステイし、同年代の生徒と友好を深めながら語学を学びます。市内観光や現地の子どもの交流、ボランティア体験なども予定されています。



不安な胸の内や決意などを述べる参加者たち

9月の
お買い得
情報

草刈り機特価！キャンペーン9月15日まで延長！

ラビット・新ダイワ・共立草刈り機を展示会価格にて販売！（排ガス規制の関係で大幅な仕様変更あり）

※家庭菜園用電気柵デンエモン100mセットを¥28,000—で好評発売中です！

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 FAX56-0009



「しまった！ また、やっちゃった…！」

こんなとき当社钣金部へ。早い、安い、納得のできあがり。
朝出して、夕方引き取り 钣金部長 森永

川根自動車株式会社

川根本町上長尾869-2 ☎0547 (56) 0150

防災情報サイポスレーダー 携帯からもご利用可能です

県交通基盤部河川砂防局



これからの季節、台風やゲリラ豪雨などへの警戒が必要です。静岡県の防災情報総合サイト「サイポスレーダー」では6月1日から、天気予報や防災情報に加えて、「川の映像配信サービス」と「雨量・水位、気象、防災情報メールサービス」を開始しました。皆さんぜひご利用ください。

http://sipos.shizuoka2.jp/
携帯版は次のQRコードからアクセスしてください。

サイポスレーダー
携帯電話用
QRコード▶



【問】県交通基盤部河川砂防局
土木防災課 ☎054 (221) 2249

防衛省（自衛官）採用試験 防衛大学校学生など3職種

自衛隊藤枝地域事務所

●防衛大学校学生

陸・海・空自衛官の幹部養成コース
第1次試験
推薦 9月24日 土、25日 日
一般 11月5日 土、6日 日

●防衛医科大学校学生

陸・海・空自衛隊の医師である幹部
自衛官養成コース
第1次試験 10月29日 土、30日 日

●自衛隊看護学生

陸上自衛隊の看護業務の中心となる
自衛官の養成コース
第1次試験 10月22日 土

■各コース共通

年齢の対象 24年4月1日現在
応募資格 高卒（見込み）で21歳未満
自衛隊看護学生は24歳未満
受付期間 9月5日 日～30日 金
防衛大学校推薦は9月5日 日～8日 土
【問】自衛隊藤枝地域事務所
☎054 (643) 6391
随時各コース説明会を実施しています。

社会生活基本調査を実施 調査員9月1日から訪問

総務省統計局

次のとおり社会生活基本調査が実施されます。これは国民の趣味・娯楽などの生活行動や1日の生活時間などを調査するものです。なお調査の事前準備のため、調査員が9月1日から調査区を訪問し、世帯主の氏名や住所を確認しますので、ご協力をお願いします。
対象 一定方法により抽出された世帯
調査日 10月20日 土

実施方法

1 調査員（知事が任命した地方公務員）が10月6日頃から調査世帯を訪問し調査票を配付（確認作業は9月から）。
2 10月下旬に調査世帯を訪問し、調査票を取集します。
調査項目 趣味・娯楽などの生活行動、1日の生活時間など
※個人情報統計法に基づき厳重に保護されます。
詳しい内容は、問い合わせ先まで。
【問】県企画広報部統計調査課人口就業班 ☎054 (221) 2995

鑑定、売買、相続、贈与… 不動産に関する無料相談

（社）県不動産鑑定士協会

（社）県不動産鑑定士協会では、地価公示、地価調査をはじめ、不動産の鑑定評価制度について広く知ってもらうため、不動産鑑定士による無料相談会を実施します。

日時 10月7日 金 午前10時～午後4時
場所（中部会場）

- ①静岡市役所静岡庁舎17階170会議室
- ②静岡市役所清水庁舎6階61会議室

内容 鑑定評価、価格、賃料、売買、交換、借地、借家、相続、贈与、その他不動産に関すること

申込方法 当日会場にて受付（受付締切時刻 午後3時30分）

【問】（社）静岡県不動産鑑定士協会
☎054 (253) 6715 FAX054 (253) 6716

9月11日は警察相談の日 困りごとは気軽に相談を

島田警察署

県警ふれあい相談室では、各種犯罪被害や交通事故などに関する相談に応じています。プライバシーは厳守しますので、気軽にお電話ください。24時間受け付けています。
プッシュ回線 ☎#9110（携帯、PHSからも利用できます）
ダイヤル回線 ☎054 (254) 9110
FAXからは…054 (252) 7910
そのほかにも各種警察相談の窓口が静

今月の納期

国民健康保険税 第3期分
水道使用料 第3期分
後期高齢者医療保険料 第2期分

納期限は9月30日です。口座振替の人は9月30日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。 税務課 ☎ (56) 2223

健やかウォーキングカードの達成者を紹介します

健康増進を目的に作成した「健やかウォーキングカード」。続々と達成者情報が届いています。どなたでも個々の目標歩数・距離・時間などを地区の保健委員に申告してカードの交付を受けることができます。一枚のカードには60日分の歩行記録ができ、3枚（180日分）のカードがいっぱいになった人を「健やかウォーキング実践者」として紹介します（掲載の同意が得られた人のみ）。まだ「健やかウォーキングカード」の交付を受けていない人は、ぜひ、地区の保健委員または生活健康課健康室、住民生活室まで申し出てください。

地区	実践者	目標歩数・時間 (一日当たり)	180日間合計 歩数・時間	保健委員
田代	羽根田武重	5,000歩	970,047歩	神谷敬子

生活健康課 ☎ (56) 2222

岡県警ホームページに掲載してありますので、そちらもご利用ください。
http://www.police.pref.shizuoka.jp
お願い 110番は警察への緊急通報用の電話です。緊急ではない場合は御遠慮ください。

緊急事件・事故以外の「相談」については☎#9110をお願いします。
【問】島田警察署 ☎ (37) 0110

ます。ぜひご来場ください。
日時 9月13日 木 午後1時30分～
(受付：午後1時～)
場所 大井神社宮美殿
島田市大井町2316
【問】ハローワーク島田求人専門援助部門 ☎ (36) 8609

藤枝特別支援学校小学部 親子体験入学のお知らせ

県立藤枝特別支援学校

保護者への説明会 10月4日 火
体験入学実施日 10月5日 水～7日 金
のうち、いずれか1日を選択
申し込み方法 電話で申し込みをしてください。
【問】藤枝特別支援学校小学部主事
☎054(636)1892

障害者合同就職面接会 ふれあいJOBフェア

ハローワーク島田

9月の「障害者雇用促進月間」に併せ、障害者の雇用の促進について、より一層の理解と協力を求め、雇用の場の拡大を目的として、障害者と事業所人事担当との合同就職面接会を開催し

川根本町の人口

川根本町の人口				平成23年8月1日現在	
世帯数	3,053	世帯 (0)	[42]	出生	2人 [0]
総人口	8,362	人 (-7)	[72]	死亡	9人 [0]
男性	4,090	人 (-5)	[17]	転入	9人 [2]
女性	4,272	人 (-2)	[55]	転出	9人 [1]

※ ()内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

文化会館で 充実の時間を

●コンテンポラリーダンス ワークショップ&ダンス公演

講師 セレノグラフィカ 隅地菜歩氏、阿比留修一氏 http://www.selenographica.net/
内容 全身を使って時代の先端を体現する「コンテンポラリーダンス」。その魅力を体感してください。ダンス経験は問いません。ワークショップ見学は無料。新しい自分に出会える近道です。
日時 ワークショップ：9月23日 金～24日 土 ダンス公演：25日 日午後3時～（2時30分開場）
入場料 小学生500円 中高生750円 大人1,200円

●「手塚治虫のメッセージ」講演会&作品上映会

講師 松谷孝征(株)手塚プロダクション代表取締役社長
内容 自然の恐ろしさを見せつけられた今だからこそ、手塚治虫の残したメッセージに耳を傾けてみよう。上映作品は「ブラックジャック」「雨ふり小僧」の2本です。
日時 10月8日 土 午後5時～（4時30分開場）
入場料 小学生300円 中高生500円 大人750円

文化会館 ☎ (59) 3106

茶娘ちゃんカード会からポイント交換セールのお知らせ

ポイント交換セール
9月20日 火～9月29日 木

ポイントカードと裏面の「引換券」を茶娘ちゃんカード会加盟店へお持ちください。
300ポイントと「引換券」1枚で、500円のお買い物ができます。



小売りいたします お気軽にどうぞ
町内への配達もいたします

茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎ 0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・FAX0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

川根高校女子ソフトテニス部の挑戦

川根高等学校女子ソフトテニス部
津山恵美 部長



たくさんのごことに感謝しながら目標に向かって頑張っていきたいと話す津山恵美さん



で私たちが築いてきたものを後輩に伝えていかななくてはならないという事です。最初私たち2年生は、後輩を

指導しなければならぬときに、うまくそれを後輩に伝えることができませんでした。最終的には先生に注意されてしまい「あのときちゃんとやってあげれば良かったな」と後悔することもありました。

高校の部活は中学と違い「自分は今、この状況で何をすべきか」を考えて行動することが重視されるようになります。先生の指示を待つてい

ニス部のメンバーなら、今以上の勝利をつかめると思っています。技術的な面の強化はもちろん、心の強化もテニス部全体でしていきたいと思っています。

コートで練習できる幸せ、仲間と強くなっていける幸せ、たくさんの方が支えてくれる幸せ。たくさんのごことに感謝しながら、これからも川高ソフトテニス部として頑張っていきたいと思います。

今年の目標は「インターハイ出場」です。それを目指して、部員16人一人一人頑張っていきますので、皆さん応援よろしくお願ひします。

みんなの広場

column

1歳になったばかりのお友達を紹介 生まれてくれてありがとう



望月良真くん

H22.8.14生 桑野山

父：克規・母：輝子
良くん1歳のお誕生日おめでとう。最近は、全部お兄ちゃんと同じことをやりたくて頑張ってるね！毎日、良くんの笑顔を見るのが楽しみです。お兄ちゃんに負けないよう早く大きくなあれ！！



Birthday

みんなの笑顔が、
まを元気にするよ😊
1歳を迎えるお子さんのかわいい笑顔を紹介しています。毎月対象となるご家庭に、案内通知を送付しています。

つれづれなるままに 編集後記

本町の小学生が力いっぱい挑む陸上競技大会。毎年、「大会の全てのシーンを追いたい」という私自身の戦いでもある。トラック競技と同時進行で展開されるフィールド競技の数々。今まで、どう頑張っても全種目にカメラを向けるのは無理だった…。でも今年は違う。近隣の広報担当者有志3人が集ってくれたのだ。どのメンバーも撮影技術に自信あり。インタビューなどの取材にも長けている。おかげで選手たちが競技に挑む全力の姿、生き生きとした表情、生の声を拾うことができた。片道1時間以上かけて駆けつけてくれた仲間みんな、改めて、ありがとうございます。小笠原聡



インタビューする菊川市広報担当者とお話する中央小の子どもたち

after word

出生・婚姻・おくやみ 戸籍の窓辺

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
桑野山	大森 奏	男	敬久
地名	坂本 牡丹	女	将文

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
田代	勝山 博文	下泉
上長尾	大矢 香織	奥泉
	山川 幸生	東京都
	小林 恵利子	久保尾

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
接岨	杉山 勢子	79	繁夫
奥泉	鈴木 政美	74	克則
小長井	榎葉 鐘次郎	80	猛
藤川	坂本 満	78	つね
久野脇	大原 やすの	93	勝
地名	坂下 菊男	86	まさ子
地名	山下 克	88	初
山名	中原 静江	98	康夫
徳山	榎田 なつ	86	秀行

family registration

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

「引換券」



交換期間 9月20日(四)～9月29日(木)
コピー不可 茶娘ちゃんカード会

「引換券」



交換期間 9月20日(四)～9月29日(木)
コピー不可 茶娘ちゃんカード会

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちよう

カントリーリローロード

緑のふるさと協力隊員

神東美希かんとうみきの奮闘記

3

私が「愛媛県出身です」と自己紹介すると、「愛媛って四国だったか」と聞かれたり「四国四県の位置がよく分からない」と言われたりします。本町の人たちにとって、それほどなじみの薄いところなのではないかと。というわけで今回は、私のふるさと「愛媛」について書きます。

愛媛県は四国地方の北西部（地図で見ると左上部分）に位置し、広島県とは瀬戸内海を挟んで向かい合っています。言わずと知れたみかんの産地で、「愛媛県では、水道の蛇口が3つあり、青い蛇口は水、赤はお湯オレンジはポンジュースが出る」という都市伝説があるほど！みかん以外のかんきつ類の生産も盛んで、キウイフルーツとイヨカンが日本一なんです。

私の住んでいた伊予市は海あり山ありの土地、人口4万人弱のこぢんまりした町です。家から海までが徒歩10分の距離にあるので、海はとて身近な存在。夏休みには海で遊んで、水着のまま歩いて家に帰ったりしていたほどです。また「日本の夕日百選」にも選ばれたきれいな夕日を見ることができ、夕方には空と海がオレンジ色に染まります。水平線

に沈んでいく夕日を眺めるのが私は大好きでした。

「ところ変われば品変わる」とはよく言いますが、特に私が注目したのは「方言」です。本町の人たちと話していると、聞きなれない言葉がたくさん出てきます。「みるい」「まめつたい」「うつつちやる」「おぞい」など、数えあげればきりがありません。分からないときはその都度「どういう意味ですか」と聞くようにしています。ときどき分かったような顔をしてやり過ぎることも…。

最近では川根弁がむしろなくなってきた。「川根弁メモ帳」に書き留めるようにしています。

愛媛の方言は「伊予弁」と言います。イントネーションは関西弁や広島弁に近いかもしれません。「いつてきます」を「いつてこーわい」、「帰ります」を「かえつてこーわい」と言ったりします。

また、「運ぶ」ことを「かく」と言います。昔、会社の同僚に東京出身の人がいました。「その机かいといて（その机を運んでおいてね）」とお願いしたのに、机の上に「つくえ」と書いたメモがあるではありませんか！どうやら『机』という文字を書

く」と勘違いしたようです。これには一同大爆笑。今でも語り草となっています。

とはいえ、私も川根弁に関してはまだまだ無知なので、おかしな返事や反応をするかもしれません。皆さん大目に見てくださいね。

さて、8月から「ヒトの魅力@かわねほんちよう」目指せ100人！プロジェクトがスタートしています。

これは「本町のことを知るには、まず人を知ることだ」という思いから生まれた企画です。来年の3月までに町民100人にインタビューして、私の活動ブログなどで紹介していきます。

「本町の人にはええ人ぎりやけん、協力してくれるやろ。みんなんとこに会いに行くけん、待つとつてやろ」（意味は私に聞いてくださいね）。



神東美希（かんとうみき） 愛媛県伊予市出身 緑のふるさと協力隊員第18期生。緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に1年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美希さんは、本町5代目の隊員。



ブログ「徒然かつこ in川根本町」執筆中！ <http://katsuko-topparohy.seesaa.net/>

